自　2019 年 4 月　1 日
至　2020 年 3 月 31 日

2019 年度　事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

2019年度事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

概 況

2019年度は学会誌、学会大会また研究会などにおける研究発表といった従来からの活動に加え、（１）国際コミュニケーション・フォーラムに関して、春季は国外からも登壇者を招き、世界各国における５Gの現状と課題、またその進化の行方について議論を行い、秋季は2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるイノベーションについて、様々な分野から分析・議論を行った。（２）英文ブックシリーズ第1巻「Telecommunications Policies of Japan」を出版するなど、学会全般にわたり更なる国際化を推進した年度となった。英文ブックシリーズの出版については、2020年度も継続して発行予定であり、そのための準備を進めた。

年度末は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年3月中に予定していた研究会等も中止を余儀なくされた。当面続くと予想されるこの状況下において、今後、本学会はその名の通り情報通信技術を活用して学会行事を開催していき、今まで以上に学会の存在意義を高めていく。

財政面に関しては、学会の国際化のため、活発に学会活動を行ったことにより、国際コミュニケーション・フォーラムにおける会議費等の経費がかさんだことなどもある。次年度以降についても、引き続き科目ごとの経費の見直しが必要とされる。

Ⅰ　学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業１）

１．2019 年度春季（第 40 回）及び 2018 年度秋季（第 41 回）情報通信学会大会

2019 年度春季（第 40 回）情報通信学会大会を 6 月 29 日（土）、30 日（日）の 2 日間、白鷗大学本キャンパスにて開催した。

個人研究発表として学生セッション（アーリーバード）発表、一般セッション発表及びポスターセッション発表、研究会による研究会報告並びに総務省の特別報告として「統計からみた「我が国のICT」の現状（平成 30 年情報通信業基本調査・通信利用動向調査）」が行われた。また、個人研究発表学生セッションにおいて優秀な 2 発表に対しアーリーバード発表賞を贈った。本大会は「情報通信月間」の参加行事である。参加者は 146 名。

また、本大会では、6 月 28 日（金）にエクスカーション（KDDI 株式会社小山ネットワークセンター見学会）を開催した。参加者は 18 名。

2019 年度秋季（第 41 回）情報通信学会大会を 11 月 30 日（土）、駒澤大学駒沢キャンパスにて開催した。個人研究発表として学生セッション（アーリーバード）発表及び一般セッション発表、研究会による研究会報告並びに総務省の特別報告として「『令和元年度版情報通信白書』の概要」が行われた。本大会においては、個人研究発表学生セッションにおいて優秀な 1 発表に対しアーリーバード発表賞を贈った。参加者は 123 名。

＊プログラム等詳細は別紙 1

２．2019年度春季（第40回）国際コミュニケーション・フォーラム及び2019年度秋季（第41回）国際コミュニケーション・フォーラム

2019 年度春季（第 40 回）国際コミュニケーション・フォーラムは、6 月 29 日（土）、白鷗大学、公益財団法人 KDDI 財団と共催し、白鷗大学本キャンパスにて開催した。テーマは「５G が拓くデジタル社会―その進化の行方」とし、基調講演に田中孝司氏（KDDI 株式会社代表取締役会長）、村井純氏（慶

應義塾大学環境情報学部教授）を招き、講演いただいた。中国伝媒大学の趙敬氏、東京大学の趙章恩氏、日本大学/映像新聞の杉沼浩司氏によるショートプレゼンテーションがあった。引き続きショートプレゼンテーションの登壇者３名に加え、コメンテータとして早稲田大学の三友仁志氏が加わり、パネル・ディスカッションが行われた。モデレータは相模女子大学の湧口清隆氏が務めた。本フォーラムは「情報通信月間」の参加行事である。参加人数は 201 名。

2019 年度秋季（第 41 回）国際コミュニケーション・フォーラムは、11 月 30 日（土）、駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部、公益財団法人 KDDI 財団と共催し、駒澤大学駒沢キャンパスにて開催した。テーマを「スポーツテックと情報通信：２０２０東京オリ・パラを通して」とし、はじめに、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の平田英世氏に講演いただいた。日本放送協会放送技術研究所の三須俊枝氏、株式会社 KDDI 総合研究所の柳原広昌氏、東日本電信電話株式会社の徳田朋大氏、株式会社 NTT データ経営研究所の河本敏夫氏、e スポーツコミュニケーションズ合同会社の筧誠一郎氏によるショートプレゼンテーションがあり、引き続き登壇者によるパネル・ディスカッションが行われた。モデレータは駒澤大学の山口浩氏が務めた。参加者は 85 名。

＊プログラム等詳細は別紙 2

３．2019年度関西大会

9月28日（土）に、関西大学梅田キャンパスにおいて、「地方の時代」映像祭と共催し、2019年度関西大会を開催した。「地域による地域のための地域の映像－地域コンテンツの制作と発信を通じた持続可能な社会の創生」をテーマとし、基調講演に高橋孝之氏（株式会社中海テレビ放送）に講演いただいた。NHK放送文化研究所の吉川邦夫氏、株式会社アマゾンラテルナの貝本正紀氏のショートプレゼンテーションがあり、引き続き登壇者によるパネル・ディスカッションが行われた。モデレータは立命館大学の北村順生氏が務めた。参加人数は46名。

＊プログラム等詳細は別紙3

Ⅱ　研究会等実施、機関誌等刊行、研究顕彰事業（公益目的事業２）

１．研究会の開催

以下の12の研究会が活動を行い、年間計25回の研究会が開催された。2019年度に地域５G研究会及び次世代ネット政策研究会の2つの新規研究会が立ち上がった。なお、情報経済研究会及びインターネット政治研究会については、2019年度にて活動終了となった。

また、情報通信ワークショップを1回開催した。

＜研究会＞

①　情報社会研究会　（2回開催）
②　情報行動研究会　（1回開催）
③　モバイルコミュニケーション研究会　（6回開催）
④　情報知財研究会　（2回開催）
⑤　情報通信経済法学研究会　（1回開催）
⑥　コンテンツビジネス研究会　（2回開催）
⑦　災害情報と法と経済に関する研究会　（2回開催）
⑧　インターネット政治研究会　（2回開催）

⑨ 地域５G研究会　(3回開催)
⑩ AIネットワーク法・政策研究会　(1回開催)
⑪ デジタル・エコシステム研究会　(1回開催)
⑫ 次世代ネット政策研究会　(2回開催)

＜情報通信ワークショップ＞
・情報通信ワークショップ（1回開催）
　＊研究会および情報通信ワークショップの詳細は別紙4

２．情報通信学会誌及び英文ブックシリーズの発行

投稿論文、投稿論説、寄稿論文及び学会大会と国際コミュニケーション・フォーラムの講演録等を掲載した情報通信学会誌第 37 巻第 1 号～第 4 号（130 号～133 号）を発行した。なお、第 1 号・第 2 号（130 号・131 号）及び第 3 号・第 4 号（132 号・133 号）は合本による発行としているが、第 3 号・第 4 号の合本号については、2020 年 4 月中旬の発行となった。電子媒体は、毎号を J-STAGE（https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsicr/-char/ja/）において公開している。

発行部数は1100部であり、会員に送付されるほか、39団体が定期購読を行っている。

また、学会における国際化の取り組みの一環として新たに刊行が決定した英文ブックシリーズについては、総務省の全面的な協力を得て、2020年1月に第1巻「Telecommunications Policies of Japan」を出版、併せて第2巻「Perspectives on the Japanese Media and Content Policies」の出版準備を進めた。以降の巻につても出版準備が進んでいる。

　＊情報通信学会誌各号及び英文ブックシリーズの詳細は別紙5

３．論文賞の授与

2018 年度発行の学会誌に掲載された論文の中から厳選な選考が行われた。その結果、2018 年度論文賞は優秀賞、佳作ともに該当なしとなった。

Ⅲ　管理部門

2019 年度は、常勤職員 1 名、非常勤職員 1 名の 2 名体制で活発な学会事業活動を支えた。

収支においては学会の国際化推進の柱となる英文ブックシリーズ出版の翻訳・編集料など、活発な学会活動により事業費が膨らんだが、他の事業全般において経費節減に努めた。今後も更なる事業費の見直し、会員数の増強等に引き続き取り組み、適正かつ効率的な事業運営に努める。

１．会員の増減

2019年4月1日現在の会員数は、正会員（個人）656名、正会員（団体）1団体、学生会員1名、特別会員85名、賛助会員44団体であった。2019年度内に正会員（個人）19名、学生会員1名の入会があったものの、正会員（個人）39名、特別会員1名の退会があり、正会員（個人）、学生会員および特別会員を合わせた個人会員数は20名減の722名となった。賛助会員は、4団体の退会があり、40団体、128口となった。引き続き大学院生を含む個人会員及び賛助会員の増強に向けて、役員を中心に会員入会の働きかけを行う。

　＊会員の増減状況及び会員種別構成については附属明細書に記載する。

２．収支状況

2019年度正味財産増減計算書の経常収益計は22,665,983円、経常費用計は23,905,253円となった。経常収益のうち受取会費は17,689,400円、事業収益は2,235,800円であった。経常費用においては事業費が18,108,995円、管理費が5,796,258円であった。正味財産の期末残高は前年度より2,750,670円減の90,036,644円となった。

３．評議員会及び理事会の開催

2019年度は評議員会を2回、理事会を6回、常任理事会を1回開催した。また、今後の学会運営について常任理事会及び理事会において検討が行われ、事業費の見直し、会員の増強への取り組みを含め、今後の学会の方針及び事業体制等が話し合われた。

＊評議員会、理事会、常任理事会の詳細は別紙 6

４．委員会等の開催

事業企画委員会、研究企画委員会、編集委員会、関西センター委員会がそれぞれ別紙のとおり委員会を開催した。また、委員の負担を軽くするため、一部委員会のメーリングリストによる検討、書面会議による議決を行った。

・研究企画委員会　（1 回開催）

・研究・事業企画委員会　（1 回開催）

*第 56 回理事会（2019 年 7 月 18 日開催）より、これまでの研究企画委員会及び事業企画委員会が合同委員会となった。

・編集委員会　（5 回開催）

・関西センター委員会　（2回開催）

・総務プロジェクト（1回開催）

＊委員会等の詳細は別紙7

事業報告の附属明細書

１．会員の増減

【2019年度中の会員増減状況】

		正会員(個人)	正会員(団体)		学生会員	特別会員	賛助会員		合計	
			団体数	口数			団体数	口数	個人	団体(口数)
2019年4月1日現在報告会員数		656	1	3	1	85	44	132	742	45(135口)
年度内増減	入会	19	0	0	1	0	0	0	20	0
	退会	△39	0	0	0	△1	△4	△4	△40	△4
	変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減計	△20	0	0	1	△1	△4	△4	△20	△4
2020年3月31日現在報告会員数		636	1	3	2	84	40	128	722	41(131口)

２．評議員・理事・監事

2019年度は、2019年度定時評議員会（2019年6月13日開催）において任期満了に伴う理事、監事及び一部評議員の選任が行われた。

○2019年度定時評議員会までの評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである。

評　議　員

（任期：2015年6月23日から2019年6月定時評議員会の日まで）

	氏　名	所　属
評議員	井上　泰浩	広島市立大学国際学部 教授
同	梶浦　敏範	株式会社日立製作所 上席研究員
同	紀伊　肇	一般財団法人マルチメディア振興センター専務理事 *任期は2018年7月13日から2022年定時評議員会の日まで
同	佐藤　靖夫	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長
同	菅谷　実	慶應義塾大学 名誉教授・白鴎大学経済学部 客員教授 *任期は2017年6月14日から2021年定時評議員会の日まで
同	辻　正次	大阪大学 名誉教授・神戸国際大学経済学部 教授
同	松井　房樹	一般社団法人電波産業会 専務理事 *任期は2017年6月14日から2021年定時評議員会の日まで
同	山下　東子	大東文化大学 経済学部 教授 *任期は2017年6月14日から2021年定時評議員会の日まで

（五十音順・敬称略）

理　　事

（任期　2017 年 6 月 14 日から 2019 年 6 月定時評議員会の日まで）

	氏　名	所　属
会長	川崎 賢一	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
副会長	山田　肇	東洋大学名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム理事長
同	武内 信博	株式会社ＮＴＴコミュニケーションズ 常勤監査役
同	中西　浩	マレーシア工科大学 教授
常務理事	新保　史生	慶應義塾大学 総合政策学部政策・メディア研究科 教授
同	庄司　昌彦	国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター 准教授
同	林　秀弥	名古屋大学 大学院法学研究科 教授
同	岡田　朋之	関西大学 総合情報学部 教授
理　事	小川　純子	ＮＨＫ放送文化研究所 所長 *任期は 2018 年 6 月 14 日から 2019 年定時評議員会の日まで
同	神野　新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員
同	河又 貴洋	長崎県立大学 国際社会学部 准教授
同	木村　幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟　研究所長
同	高崎 晴夫	株式会社ＫＤＤＩ総合研究所 フューチャーデザイン1部門 主席研究員
同	西岡 洋子	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	福冨 忠和	専修大学 ネットワーク情報学部 教授
同	宮崎 久美子	東京工業大学 環境・社会理工学院　イノベーション科学系　教授

（五十音順・敬称略）

監　　事

（任期　2015 年 6 月 23 日から 2019 年 6 月定時評議員会の日まで）

	氏　名	所　属
監　事	池川 博士	株式会社ドコモＣＳ 常勤監査役
同	篠原 聡兵衛	ＫＤＤＩ株式会社 渉外・広報本部 渉外部マネージャー

（五十音順・敬称略）

○2019年度定時評議員会以降の評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである。

評　議　員

（任期：2019 年 6 月 13 日から 2023 年 6 月定時評議員会の日まで）

	氏　名	所　属
評議員	井上　泰浩	広島市立大学 国際学部 教授
同	神野　新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員
同	紀伊　肇	一般財団法人マルチメディア振興センター 専務理事 ＊任期は2018年7月13日から2022年6月定時評議員会の日まで
同	佐藤　靖夫	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長
同	菅谷　実	慶應義塾大学 名誉教授／白鷗大学経済学部 客員教授 ＊任期は 2017 年 6 月 14 日から 2021 年 6 月定時評議員会の日まで
同	辻　正次	大阪大学 名誉教授／神戸国際大学 経済学部 教授
同	廣松　毅	情報セキュリティ大学院大学 客員教授／日本学術振興会 人文・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター センター長
同	松井　房樹	一般社団法人電波産業会 専務理事 ＊任期は 2017 年 6 月 14 日から 2021 年 6 月定時評議員会の日まで
同	山下　東子	大東文化大学 経済学部 教授 ＊任期は 2017 年 6 月 14 日から 2021 年 6 月定時評議員会の日まで
同	山田　肇	東洋大学 名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長

（五十音順・敬称略）

理　　事

（任期　2019 年 6 月 13 日から 2021 年 6 月定時評議員会の日まで）

	氏　名	所　属
会　長	三友　仁志	早稲田大学 国際学術院大学院アジア太平洋研究科 研究科長・教授
副会長	川崎　賢一	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	実積　寿也	中央大学 総合政策学部 教授
常務理事	内山　隆	青山学院大学 総合文化政策学部 教授
同	江嵜　正邦	一般財団法人海外通信・放送コンサルティング協会 理事長

同	岡田　朋之	関西大学 総合情報学部 教授
同	林　秀弥	名古屋大学 大学院法学研究科/同アジア共創教育研究機構 教授
理　事	小川　純子	ＮＨＫ放送文化研究所 所長
同	河又　貴洋	長崎県立大学 国際社会学部 准教授
同	木村　幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
同	桑原　俊	株式会社情報通信総合研究所 法制度研究部 主任研究員
同	庄司　昌彦	武蔵大学 社会学部 教授
同	新保　史生	慶應義塾大学 総合政策学部 教授
同	高崎　晴夫	株式会社ＫＤＤＩ総合研究所 フューチャーデザイン１部門　研究員
同	田中　絵麻	明治大学 国際日本学部 専任講師
同	西岡　洋子	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	福冨　忠和	専修大学 文学部 教授
同	宮崎　久美子	東京工業大学 環境・社会理工学院 イノベーション科学系 教授

（五十音順・敬称略）

監　事

（任期　2019 年 6 月 13 日から 2023 年 6 月定時評議員会の日まで）

	氏　名	所　属
監　事	池川 博士	株式会社ドコモＣＳ 常勤監査役
同	篠原 聡兵衛	ＫＤＤＩ株式会社 渉外・広報本部 渉外部マネージャー

（五十音順・敬称略）

＊評議員、理事及び監事の所属先はいずれも 2020 年 3 月 31 日現在の役職を記載

別紙１

2019 年度春季（第 40 回）情報通信学会大会

開催日程　2019 年 6 月 29 日（土）・30 日（日）
場所　白鷗大学　本キャンパス　東館（栃木県小山氏駅東通-2-2-2）
主催　公益財団法人情報通信学会
共催　白鷗大学
協賛　情報通信月間推進協議会　＊情報通信月間参加行事

〇プログラム
6 月 29 日（土）
個人研究発表（学生の部）、総会、懇親会
6 月 30 日（日）
個人研究発表（一般の部）、研究会報告、特別報告、ポスターセッション

※本学会大会では、6 月 28 日（金）にエクスカーションを開催。

＜個人研究発表＞
学生の部（アーリーバード）

1. 中国におけるネットスラング研究―サブカルチャーファンコンミュニティの視点から―
   李思園（早稲田大学大学院生）
2. THE PRODUCTIVITY EFFECTS OF INNOVATION: An Empirical Study of the Manufacturing Industry of Information and Communication Technology in China
   LI Junjun（早稲田大学大学院生）
3. 中国における OTT サービス産業の発展―マルチスレッド管理モデルと地元大手企業の勃興―
   劉佳（台湾政治大学大学院生）、菅谷実（白鷗大学）
4. 複数ドローンに対する交通支援 AR システムの構築及び有効性の検証と仮想環境での試行実験
   森倉祐（芝浦工業大学大学院生）、中村広幸（芝浦工業大学）
5. モバイルマネーの普及をめぐる競争政策的課題　大槻芽美子（九州大学大学院生）

一般の部

1. インターネット利用国際比較調査の現状と今後～WIP (World Internet Project) 20 年の活動への日本チーム（JWIP）の取り組みから～
   小笠原盛浩（東洋大学）、木村忠和（立教大学）、石井健一（文教大学）、遠藤薫（学習院大学）、三上俊治（東洋大学）、橋元良明（東京大学）
2. インターネット利用と先端技術の社会的実装：―JWIP（WIP 日本チーム）　調査報告から―
   遠藤薫（学習院大学）
3. ダウンロード違法化騒動から何を学ぶか - 日本版フェアユース再考のすすめ -
   城所岩生（国際大学 GLOCOM）
4. 漫画定額配信サービスの可能性 ―漫画村の経験より―
   田中　辰雄（慶應義塾大学）

5. 「通信の秘密」に関する３つのアンバンドリングの必要性
 林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学）、田川義博（情報セキュリティ大学院大学）
6. インドにおけるデジタルメディアの進展に関する一考察―オンライン動画配信サービス市場の事業者動向に関する英国の事例との国際比較―
 藍沢志津（マルチメディア振興センター）
7. メディア利用におけるシャドウコストの推計－広告への不効用と過剰広告の可能性－
 宍倉学（長崎大学）、春日教測（甲南大学）、中村彰宏（横浜市立大学）
8. 米国及び韓国における有料放送市場の発展と競争－ケーブルテレビ事業者を中心に－
 三澤かおり（マルチメディア振興センター)、山條朋子（KDDI 総合研究所）
9. インターネット利用と社会的分断―JWIP（WIP 日本チーム）調査から―
 木村忠正（立教大学）
10. 中国人の対日消費におけるインフルエンサーマーケティングの実態調査－広告代理店インタビューを中心に
 劉亜菲（KDDI 総合研究所）、宮脇景子（KDDI 総合研究所）、間瀬公太（KDDI 総合研究所）
11. プラットフォーム事業者のデータの収集・活用に対する人々の評価―CVM 法による支払い意思額の推計―
 山口真一（国際大学 GLOCOM)、佐相宏明（国際大学 GLOCOM)、青木志保子（国際大学 GLOCOM)、田中辰雄（慶應義塾大学）
12. NHK 受信料債権と民法 168 条 1 項前段の適用の有無―最高裁平成 30 年 7 月 17 日第三小法廷判決― 磯本典章（成蹊大学）
13. パブリシティ権の一身専属性 斉藤邦史（慶應義塾大学）
14. リバタリアン・パターナリズムとインターネット青少年保護―刈谷市児童生徒愛護会の取組を題材にして― 齋藤長行（慶應義塾大学）
15. 災害をアーカイブするとはー東日本大震災の事例からー 中嶋聖雄（早稲田大学）
16. 行政機関が保有するデータの新規公開促進に向けた「オープンデータ官民ラウンドテーブル」の考察 庄司昌彦（武蔵大学）
17. 遠距離情報伝達の方向性に関する動向のオントロジー的考察
 森田英夫（DTK）、島崎誠彦（元 東海大学）

＜ポスターセッション＞

1. アジア地域の情報通信技術産業生態系における地政経学的マッピングの試み
 河又貴洋（長崎県立大学）
2. オンラインにおけるコミュニティサービスの利用実態について
 大谷光一（武庫川女子大学）
3. 米国の情報通信・自然科学・キリスト教精神 池末成明
4. インターネット利用の国際比較：World Internet Project 日本チーム（JWIP）調査報告―日本人のネットへの信頼度とプライバシー意識― 石井健一（文教大学）

＜アーリーバード発表賞：2 件＞

1. 複数ドローンに対する交通支援 AR システムの構築及び有効性の検証と仮想環境での試行実験
 森倉祐（芝浦工業大学大学院生）中村広幸（芝浦工業大学）

2. THE PRODUCTIVITY EFFECTS OF INNOVATION: An Empirical Study of the Manufacturing Industry of Information and Communication Technology in China
LI Junjun（早稲田大学大学院生）

＜特別報告＞

統計からみた「我が国の ICT」の現状（平成 30 年情報通信業基本調査・通信利用動向調査）
報告者：森原紀代子、中西章（総務省 情報流通行政局）

＜研究会報告＞

1. 情報行動研究会
プライバシーポリシーは読まれているか？～スマートフォン利用者調査実験による考察～
報告者：篠田詩織（NTT セキュアプラットフォーム研究所）
　　　：堀川裕介（東京大学学際情報学学府博士課程）
討論者：松田美佐（中央大学）　司会者：橋元良明（東京大学）
2. インターネット政治研究会
ファクトチェックはフェイクニュースの拡散を止められるか？
「沖縄知事選挙のフェイクニュースとファクトチェック」
報告者：滝本匠（琉球新報）
「アメリカ大統領選挙におけるフェイクニュース対策としてのファクトチェックの役割」
報告者：清原聖子（明治大学）
討論者：安藤恭子（東京新聞）　司会者：李洪千（東京都市大学）
3. モバイルコミュニケーション研究会
次世代通信システム・サービスの社会的影響
「韓国で始まった世界初の 5 G 商用サービスの概況と将来展望」
報告者：木暮祐一（青森公立大学）
「e スポーツと社会」
報告者：中島賢一（福岡 e スポーツ協会会長）
司会者：上松恵理子（武蔵野学院大学）
4. 情報社会研究会
北米の情報アクセシビリティ－現地調査（特に CC に関する）報告－
報告者：稲瀬達也（芝浦工業大学大学院修士課程）
司会者：中村広幸（芝浦工業大学）

＜エクスカーション＞

KDDI 株式会社 小山ネットワークセンター 見学会

開催日程	2019 年 6 月 28 日（金）15：00～17：30
場所	KDDI 株式会社 小山ネットワークセンター （栃木県小山市大字神鳥谷 1828 番地）
主催	公益財団法人情報通信学会
協力	KDDI 株式会社

○プログラム
・施設概要説明、施設見学、質疑応答
＜見学対象設備＞
特高変電所、自家発電機、蓄電池、サーバールーム、基地局、車載基地局、地球局

2019 年度秋季（第 41 回）情報通信学会大会

開催日程　2019 年 11 月 30 日（土）
場所　駒澤大学　駒沢キャンパス　3 号館
（東京都世田谷区駒沢 1-23-1）
主催　公益財団法人情報通信学会
共催　駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部

○プログラム
個人研究発表（学生の部）、個人研究発表（一般の部）、研究会報告、特別報告
＜個人研究発表＞
学生の部（アーリーバード）
1. 個人信用スコアシステムの利活用と規制～チーマ信用を例として
伍冠宇（慶應義塾大学大学院生）
2. A content analysis of digital news coverage of the live streaming in China、YANG YISI（早稲田大学大学院生）
3. 中国におけるインターネット上にみる訪日旅行記に関する研究、段乃イ（駒澤大学大学院生）
4. The Influence of Source Credibility in Pseudoscience Fake News in Japan、Artima Kamplean (早稲田大学大学院生)
5. An analysis of consumer preferences for Over-the-top (OTT) communications services: the case of Thailand、Monarat JIRAKASEM (早稲田大学大学院生)
6. フェイクニュースに対する若者の接触実態の解明、根本藍（法政大学学部生)、藤代裕之（法政大学)

一般の部
1. 「アニメ聖地」という場所性に対する地域側の対応の比較研究、谷村要（大手前大学)
2. サイバースペースにおけるミレニアル世代の社交性：ニコニコ動画とビリビリにおける弾幕の比較研究、中嶋聖雄（早稲田大学)
3. ネット利用による世論の〈分極化〉効果の検証― サーベイデータを用いた統計解析の方法論的検討を中心に、辻大介（大阪大学)
4. 政治に関する情報源が内的有効性感覚に及ぼす影響の研究、長濱憲（東京大学大学院生)、橋元良明（東京大学)、小笠原盛浩（東洋大学)
5. ソーシャルメディア SNS における一対一から多対多の情報通信の課題解決についてのオントロジー的考察、森田英夫（DTK)、島崎誠彦（元東海大学)
6. フェイクニュースと若者を結びつける新聞言説はどのように広がったか、與那覇　里子（沖縄タイムズ)、藤代裕之（法政大学)

7. Effects of different media on the sharing of fake news on social media、
   CHENG, John William（津田塾大学）
8. テレビ付き賃貸マンション（レオパレス）の入居者の日本放送協会受信料支払義務―最高裁判所第一小法廷平成 30 年 8 月 29 日決定の検討―、磯本典章（成蹊大学）
9. NHK 受信料支払いの決定要因に関する分析―インターネットと訴訟報道からの影響を中心に―、森由美子（東海大学）
10. 広域民放テレビ局の地域性分析～TV メタデータからみる府県別放送内容～、脇浜紀子（京都産業大学）
11. ラグビーワールドカップ 2019　国際映像制作のスキーム、廣谷徹（国際メディアサービスシステム研究所）
12. 韓国の 5G と放送通信融合―地上波放送の 5G 利活用事例分析を中心に―、趙章恩（東京大学）
13. プロトコル・ベースのプラットフォーム規制、八田真行（駿河台大学）
14. 日本におけるコード・カッティングの現状：全国ウェブアンケート調査（2019 年 6 月）の集計と分析を中心に、
    米谷南海（マルチメディア振興センター）、五十嵐輝（マルチメディア振興センター）
15. 米国モバイル市場の競争政策と業界の変遷、山條朋子（KDDI 総合研究所）

＜特別報告＞

1. 令和元年度版　情報通信白書の概要
   報告者：藤井信英（総務省）

＜研究会報告＞

1. コンテンツビジネス研究会
   報告：サブスクリプションサービスと音楽産業
   報告者：島田和大（ユニバーサルミュージック）豊島究吾（ヒップランドミュージックコーポレーション）
   司会：田村和人（東京経済大学）
2. 情報社会研究会
   ワークショップ（情報アクセシビリティ探検隊）の報告
   報告：韓国におけるフェイクニュースの法的規制の動き
   報告者：岡本明（NPO 法人「風の子会」（障害者就業支援団体）理事）
   司会：中村広幸（芝浦工業大学）
3. 地域 5G 研究会
   報告：地域×5G：米韓における取り組みからの考察
   報告者：三澤かおり（一般財団法人マルチメディア振興センター）中村邦明（情報通信総合研究所）
   司会：菅谷　実（白鷗大学）
4. モバイルコミュニケーション研究会
   報告 1：2019 年参院選におけるニュースアプリ利用とニュースのフェイク認知
   報告者：小笠原盛浩（東洋大学）
   報告 2：The doubling of time:ミュージアム公式アプリと観光 AR アプリの現状と可能性をめぐって

報告者：富田英典（関西大学）
司会：松下慶太（実践女子大学）

＜アーリーバード発表賞：1 件＞
The Influence of Source Credibility in Pseudoscience Fake News in Japan、Artima Kamplean (早稲田大学大学院生)

別紙 2

2019年度春季（第40回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程　2019 年 6 月 29 日（土）14：30～17：50
場所　白鷗大学本キャンパス　白鷗国際ホール
（栃木県小山市駅東通り 2-2-2）
テーマ　「５Ｇが拓くデジタル社会ーその進化の行方」
主催　公益財団法人情報通信学会
共催　白鷗大学、公益財団法人 KDDI 財団
協賛　情報通信月間推進協議会
後援　総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社東芝、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、公益財団法人電気通信普及財団、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所

〇プログラム
開会挨拶　川崎賢一（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授）
基調講演 1　「5G 時代に向けた KDDI の取り組み」
田中孝司（KDDI 株式会社　代表取締役社長）
基調講演 2　「Unwired: インターネット社会への 5G インパクト」
村井純（慶應義塾大学環境情報学部教授）
ショートプレゼンテーション
「中国の現状と課題」　趙敬（中国伝媒大学ニューメディア研究院 助教授）
「韓国の現状と課題」　趙章恩（東京大学大学院情報学環　特任助教）
「欧米の現状と課題」　杉沼浩司（日本大学生産工学部　非常勤講師／映像新聞　論説委員）
パネル・ディスカッション
パネリスト：趙敬、趙章恩、杉沼浩司
コメンテータ：三友仁志（早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科長・教授）
モデレータ：湧口清隆（相模女子大学人間社会学部教授）

総合司会：湧口清隆（相模女子大学人間社会学部教授）
＜概　要＞
5G は、4G までの携帯電話の延長線上にはない。5G により、企業の生産活動、自動運転、さらにはエンターテインメントの分野にも多様なサービスが提供可能となる。そのような 5G がもたらす新たなデジタル社会に向けて、現在、中国、韓国、そして欧米ではどのような新たなチャレンジが展開されているのか？それに対して日本は、5G 市場でどのような活路を見出していけるのか、その行方を探る。

公益財団法人情報通信学会
2019 年度秋季（第 41 回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程　2019 年 11 月 30 日（土）14：30～17：35
場所　駒澤大学 駒沢キャンパス 3 号館 207 教室
（世田谷区駒沢 1-23-1）
テーマ　スポーツテックと情報通信：２０２０東京オリ・パラを通して
主催　公益財団法人情報通信学会
共催　駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部、公益財団法人 KDDI 財団
後援　総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、
西日本電信電話株式会社、 株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、
ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、 株式会社東芝、
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、
公益財団法人電気通信普及財団、一般社団法人日本民間放送連盟、
一般社団法人日本新聞協会、 一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、
一般社団法人電波産業会、 一般財団法人マルチメディア振興センター、
一般財団法人情報法制研究所

〇プログラム
会長挨拶　三友仁志　（早稲田大学　国際学術院大学院アジア太平洋研究科研究科長・教授）
開催校挨拶　長谷部八朗（駒澤大学 学長）
講　演　「2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおけるイノベーション」
平田英世（公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 イノベーション推進室長 兼 テクノロジーサービス局次長　兼　デジタルマーケティング室長）
ショートプレゼンテーション
「スポーツ中継向け新映像表現」
三須俊枝（日本放送協会 放送技術研究所 空間表現メディア研究部 主任研究員）
「スポーツ向けの画像処理技術の取組み」
柳原広昌（株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員）
「地域創生×スポーツ×ICT」
徳田朋大（東日本電信電話株式会社 北海道事業部 企画部 マネージャー）
「産官学連携と異業種連携がもたらすスポーツビジネスの新しい地平線　～Sports-Tech & Business Lab の取り組み～」
河本敏夫（株式会社 NTT データ経営研究所 ビジネス・トランスフォーメーション・ユニット　アソシエイト・パートナー）
「e スポーツの現状と今後の展望」
筧誠一郎（e スポーツコミュニケーションズ合同会社 代表執行役社長/東京都 e スポーツ連合 会長）

パネル・ディスカッション

モデレータ：山口浩（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部長・教授）

パネリスト： 平田英世、三須俊枝、柳原広昌、徳田朋大、河本敏夫、筧誠一郎

閉会挨拶　　川崎賢一（駒澤大学グローバル・メディア研究科委員長・教授）

総合司会　　西岡洋子（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授）

＜概　要＞

　スポーツは、コンピュータ技術や情報技術の進展により、人間内在的には、自己や感覚を純粋に確認する経験として、外在的には、能力の拡張として、発展・進化を遂げつつある。また、本質的に、＜遊び＞や＜競争＞とも関連がある。現実のルールではなく、虚構のルールによりゲームが遂行され、多くの場合、一方における競争、もう一方における協力を経験することができる。その際、近年のデータ科学・コンテンツ開発・AI・IoT などの技術の進展に伴い、大きく変容してきている。

本フォーラムでは、主に 2020 年に開催される東京オリ・パラの実現を通して、スポーツの分野のテクノロジーがさらに展開するきっかけになりつつあることを明らかにし、特に、情報通信の果たす役割を中心として、学際的に様々な分野から分析を進めていきたい。

別紙３

2019年度関西大会

開催日程　　2019年9月28日（土）13:30～17:30

場所　　関西大学梅田キャンパス　８F　KANDAI　Ms　RISEホール

テーマ　　「地域による地域のための地域の映像―地域コンテンツの制作と発信を通じた持続可能な社会の創生」

主催　　公益財団法人情報通信学会関西センター

共催　　「地方の時代」映像祭

〇プログラム

映像祭フォーラム挨拶　　市村元（「地方の時代」映像祭プロデューサー／関西大学客員教授）

趣旨説明　　岡田朋之（情報通信学会常任理事、関西センター委員長／関西大学総合情報学部教授）

基調講演　「街づくりのためのコンテンツの在り方」

髙橋孝之（株式会社中海テレビ放送代表取締役会長／
株式会社サテライトコミュニケーションズネットワーク代表取締役）

ビデオ上映「米子が生んだ心の経済学者～宇沢弘文が遺したもの～」

（株式会社中海テレビ放送制作　41min.）

ショートプレゼンテーション

「地域ドラマのフレキシビリティと可能性」吉川邦夫（NHK放送文化研究所）

「大山チャンネルの超”住民参加とはー町のテレビが生み出す“物語”」

貝本正紀（株式会社アマゾンラテルナ・鳥取大山オフィス）

パネル・ディスカッション

モデレーター：北村順生（立命館大学映像学部准教授）

ディスカッサント：髙橋孝之、吉川邦夫、貝本正紀

＜概　要＞

情報ネットワークの高速大容量化が進展する中で、コンテンツの生産・流通・消費のあり方が大きな変容をとげつつある。映像等の大手メディアによるオンデマンド配信が広がる一方で、モバイルデバイスやSNSをベースにしたパーソナルなレベルの情報発信も盛り上がりを見せているが、今後の日本における人口減少社会の進行の中では地域に根ざしたメディアの存立が問われる状況となっている。今年度の関西大会では、こうした流れを踏まえ、地域からのコンテンツ制作と発信の新たな試みをおこなってきた事業者を基調講演に招くとともに、さまざまな試みや研究に取り組むゲストをパネルディスカッションに招き、地域の持続可能な社会の形成に貢献しうるメディアの可能性を探る。

別紙 4

2019年度 研究会・情報通信ワークショップ開催状況

＜研究会＞

① **情報社会研究会**（主査：中村広幸　幹事：井村保、柴田邦臣）2 回開催

・2019 年 6 月 30 日（日）14：45～16：00　白鷗大学本キャンパス東館 406 教室

「北米の情報アクセシビリティ―現地調査（特にＣＣに関する）報告―」

報告者：稲瀬達也（芝浦工業大学)、発表者：中村広幸（芝浦工業大学）

・2019 年 12 月 7 日（土）9：00～13：00　芝浦工業大学豊洲校舎～豊洲周辺

「豊洲・情報アクセシビリティ WS」　発表者：中村広幸（芝浦工業大学）

② **情報行動研究会**（主査：橋元良明　幹事：松田美佐）1 回開催

・2019 年 6 月 30 日（日）14：45～16：00　白鷗大学本キャンパス　東館 403 教室

「プライバシーポリシーは読まれているか？～スマートフォン利用者調査実験による考察～」

報告者：篠田 詩織（NTT セキュアプラットフォーム研究所)、堀川 裕介（東京大学)、

討論者：松田美佐（中央大学)、司会：橋元良明（東京大学）

③ **モバイルコミュニケーション研究会**（主査：藤本憲一　幹事：富田英典・岡田朋之）6 回開催

・2019 年 5 月 11 日（土）15:00~17:00　関西大学第 3 学舎　B501（A）教室

「モバイルメディア時代の働き方」

発表者：松下慶太（実践女子大学)、討論者：伊藤耕太（関西大学／マーケティングディレクター)、司会：天笠邦一（昭和女子大学）

・2019 年 6 月 30 日（日）14：45～16：00 白鷗大学本キャンパス東館 405 教室

「次世代通信システム（５Ｇ）とその社会的影響」

報告者：木暮祐一（青森公立大学)、中島賢一（福岡ｅスポーツ協会会長）

司会者：上松恵理子（武蔵野学院大学）

・2019 年 7 月 27 日（土）15：00～17：00　関西大学東京センター

「『「場所」論』と最近の場所事情」

報告者：丸田一（株式会社 WHERE 代表取締役)、討論者：富田英典（関西大学)、

司会者：羽渕一代（弘前大学）

・2019 年 9 月 2 日（日）15：00～17：00　実践女子大学 渋谷キャンパス 402 教室

「AR 謎解きゲーム『サラと謎のハッカークラブ』の成功にみる、拡張現実の未来」

報告者：李禎み（Yoshimi Li）（プレティア株式会社）、

討論者：吉田達（東京経済大学）、司 会：松下慶太（実践女子大学）

・2019 年 10 月 5 日（土）15:00～20：00 関西大学第３学舎第２会議室

「Locative Media: Inclusion and Exclusion in Urban Spaces」

報告者：Prof. Dr. Ingo Schulz-Schaeffer（ベルリン工科大学)、Dr. Eric Lettkemann（ベルリン工科大学)、司会者：富田英典（関西大学）

・2019 年 11 月 30 日（土）13：00～14：15　駒澤大学 駒沢キャンパス 3-206 教室

報告 1：2019 年参院選におけるニュースアプリ利用とニュースのフェイク認知

報告者：小笠原盛浩（東洋大学）

報告 2：The doubling of time:ミュージアム公式アプリと観光 AR アプリの現状と可能性をめぐって

報告者：富田英典（関西大学）
司会：松下慶太（実践女子大学）

④　**情報知財研究会**（主査：鈴木雄一　幹事：玉井克哉）2 回開催

・2019 年 10 月 29 日（火）18：30～20：30
サピアタワー８階　東大先端研丸の内分室
「嫌われる著作権──ブロッキング、ダウンロードの違法化・犯罪化、拡大集中許諾をめぐって──」報告者：玉井克哉

・2020 年 2 月 20 日（木）18：30～20：30　サピアタワー８階　東大先端研丸の内分室
「広義の肖像権に対する効率的な第三者管理の可能性に関する研究の初歩的検討状況」
報告者　：境真良（独立行政法人情報処理推進機構）

⑤　**情報通信経済法学研究会**（主査：林秀弥　幹事：福田雅樹）1 回開催

・2019 年 7 月 5 日（金）12：30～14：30　電波産業会第 4 会議室
「その後の EU と米国のネット中立性政策」
報告者：佐々木勉（総務省情報通信政策研究所特別研究員）、討論者：林秀弥（名古屋大学）

・2020 年 3 月 17 日（火）　13：30～15：30　名古屋大学東京連絡所
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020 年 3 月 2 日に開催中止を決定。
「欧州連合におけるデジタルサービス市場の競争枠組：オンライン仲介サービス規則を巡って」
講師：　佐々木勉　（総務省情報通信政策研究所）
司会：林秀弥（名古屋大学）

⑥　**コンテンツビジネス研究会**（主査：大場吾郎　幹事：田村和人、浅利光昭）　2 回開催

・2019 年 10 月 18 日（金）18：00～20：00　青山学院大学青山キャンパス 14 号館（総研ビル）9F 第 15 会議室
「出版社のコンテンツビジネス～クロスメディア展開を中心に」
報告者：清水一彦（江戸川大学）、沢辺伸政（小学館）　司会：大場吾郎（佛教大学）

・2019 年 11 月 30 日（土）13：00～14：15　駒澤大学駒沢キャンパス
「サブスクリプションサービスと音楽産業」
報告者：島田和大（ユニバーサルミュージック）、豊島究吾（ヒップランドミュージックコーポレーション）、司会：田村和人（東京経済大学）

⑦　**災害情報と法と経済に関する研究会**（主査：林秀弥　幹事：井上禎男、西澤雅道）　2 回開催

・2019 年 7 月 27 日（土）13：30～17：00　日本大学法学部 10 号館
「地区防災計画づくりとコミュニティのソーシャル・キャピタル―新潟・山形地震をはじめとする過去の災害経験を踏まえて―」
登壇者：室崎益輝（兵庫県立大学／地区防災計画学会会長）、稲葉陽二（日本大学）、矢守克也（京都大学）、加藤孝明（東京大学）、川脇康生（関西国際大学）、磯打千雅子（香川大学）、岩崎敬子（ニッセイ基礎研究所）、西澤雅道(前福岡大学法学部／内閣官房)

・2019 月 12 月 21 日（土）13：45～16：45　キャンパスプラザ京都
「台風 19 号等の教訓と地区防災計画」
登壇者：室崎益輝（兵庫県立大学／地区防災計画学会会長）、矢守克也（京都大学）、加藤孝明（東京大学）、竹之内健介（京都大学）、喜多毅（宝塚市川面地区自主防災会会長）、西澤雅道（前福岡大学法学部／内閣官房）

・2019 年 3 月 7 日（土）9：30～17：30　兵庫県立大学神戸防災キャンパス

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年2月28日に開催中止を決定。
「阪神・淡路大震災から25年 大震災の教訓と地区防災計画」
登壇者：矢守克也（京都大学）、室崎益輝（兵庫県立大学）、加藤孝明（東京大学）、磯打千雅子（香川大学）、阪本真由美（兵庫県立大学）、生田英輔（大阪市立大学）、澤田雅浩（兵庫県立大学）、田中隆文（名古屋大学）ほか

⑧ **インターネット政治研究会**（主査：清原聖子　幹事：前嶋和弘、李洪千）　2回開催

・2019年6月30日（日）14：45〜16：00　白鷗大学本キャンパス東館404教室「ファクトチェックはフェイクニュースの拡散を止められるか？」
報告1：沖縄知事選挙のフェイクニュースとファクトチェック　報告者：滝本匠（琉球新報）
報告2：アメリカ大統領選挙におけるフェイクニュース対策としてのファクトチェックの役割
報告者：清原聖子（明治大学）
司会：李洪千（東京都市大学）

・2019年11月23日（土）15：30〜17：50
明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント2階4021教室
「国際共同研究シンポジウム　ポスト・トゥルース時代の民主主義」
報告1：アメリカにおけるフェイクニュースの新しい現象　報告者：ダイアナ・オーエン（ジョージタウン大学）
報告2：「フェイク」と認知されるニュース―受け手視点による2017年衆院選のフェイクニュース分析　報告者：小笠原盛浩（東洋大学）
報告3：韓国におけるメディアのファクトチェックとフェイクニュースをめぐる規制の動向
報告者：李洪千（東京都市大学）
討論者：前嶋和弘（上智大学）
コーディネーター：清原聖子（明治大学）

⑨ **地域5G研究会**（主査：菅谷実　幹事：山田徳彦、米谷南海）　3回開催

・2019年9月5日（木）17：30〜19：00　一般財団法人電波産業会 第3会議室
報告： 5Gをめぐる電波政策の最新動向
報告者：磯和滉士（総務省）

・2019年11月30日（土）13：00〜14：15　駒澤大学駒沢キャンパス　3-203教室
「地域×5G：米韓における取り組みからの考察」
報告者：三澤かおり（一般財団法人マルチメディア振興センター）、中村邦明（情報通信総合研究所））
司会：菅谷実（白鷗大学）

・2020年2月18日（木）17：30〜19：00　一般社団法人電波産業会 第6会議室
「ローカル5Gの海外動向ードイツを中心として」
報告者：岸田重行（情報通信総合研究所）

⑩ **AIネットワーク法・政策研究会**（主査：福田雅樹　幹事：成原慧）　1回開催

・2020年2月10日（月）15：00〜17：00　大阪大学法経研究棟4階大会議室
「暗号の法の憲法的基礎」
報告者：片桐直人（大阪大学）、討論者：成原慧（九州大学）

・2020年3月21日（月）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止を決定。

主催：理化学研究所革新知能統合研究センター人工知能倫理・社会チーム
共催：情報通信学会 AI ネットワーク法・政策研究会、
　　京都大学大学院医学研究科脳病対生理学講座（精神医学）
国際シンポジウム「AI 時代社会に向けたこころ・ひとの涵養・育成 -ネット社会と依存症・技の修練・エンハンスメントの切り口から-」
基調講演 1 “Human enhancement in an Internet-focused society: addictions, enhancement drugs and the desire to appear” should be perfect for us.”
Dr. Ornella Corazza (Reader in Substance Addictions and Behaviors& MD Program Director, University of Hertfordshire, UK)
報告 1 「普段のネット使用・日頃の運動は健康的？-AI 社会に向けた適度な生活習慣と脳健康-」　藤原広臨（理研 AIP センター/京都大学）
報告 2 「AI 社会とエンハンスメントをめぐる法的課題」成原慧(理研 AIP センター/九州大学)
基調講演 2 　「エンハンスメントの可能性と正当性-生命倫理と AI 倫理の狭間で-」
　　鈴木晶子（理研 AIP センター、京都大学）
司会　福田雅樹（AIP センター、大阪大学）

⑪ **デジタル・エコシステム研究会**（主査：岡田朋之、幹事：長谷川想、北村順生）　2 回開催
・2019 年 7 月 31 日（水）17:00～19:00　関西大学梅田キャンパス　7 階 701 室
「モバイルメディア時代の働く場所・働き方―欧米のコワーキングスペース事例を中心に」
報告者：松下慶太（実践女子大学）
モデレーター：岡田朋之（関西大学）
・2020 年 1 月 31 日（金）18：00～20：00　関西大学梅田キャンパス　7 階 603 室
「中国における自媒体の発展とジャーナリズム」
報告者：巍巍（関西大学大学院）
モデレーター：岡田朋之（関西大学）

⑫ **次世代ネット政策研究会**　（主査：庄司昌彦、幹事：高口鉄平）　2 回開催
・日時：　2019 年 6 月 22 日（土）午後～23 日（日）午後
会場：　LINE 株式会社（JR 新宿ミライナタワー23 階）
　　多摩永山情報教育センター
参加ゼミ：青森公立大学経営経済学部 木暮祐一ゼミ、静岡大学 情報学部 高口鉄平ゼミ、中央大学 総合政策学部 実積寿也ゼミ・中村周史ゼミ、東洋大学 経済学部 生貝直人ゼミ、武蔵大学 社会学部 庄司昌彦ゼミ、明治大学 国際日本学部 田中絵麻ゼミ
・日時：2019 年 10 月 19 日（土）・20 日（日）
会場：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー9 階 1095 室、Yahoo!ロッジ
参加ゼミ：青森公立大学経営経済学部 木暮祐一ゼミ、静岡大学 情報学部 高口鉄平ゼミ、中央大学 総合政策学部 実積寿也ゼミ、武蔵大学 社会学部 庄司昌彦ゼミ、明治大学 国際日本学部 田中絵麻ゼミ
特別講演：「ハックされる民主主義 ～デジタル時代の「選挙介入」対策を考える～」
　　川口貴久（東京海上日動リスクコンサルティング）

＜情報通信ワークショップ＞

第 1 回情報通信ワークショップ

「e スポーツの現状と今後の展望」

開催日程　2019 年 7 月 12 日（金）17：00〜18：15

場所　一般社団法人電波産業会　第 3 会議室

（東京都千代田区霞が関 1-4-1　日土地ビル 11 階)）

主催　公益財団法人情報通信学会

協力　一般社団法人電波産業会

〇プログラム

会長挨拶　川崎賢一（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授）

講演　筧誠一郎　（e スポーツコミュニケーションズ合同会社　代表執行役社長、東京都 e スポーツ連合会長）

質疑応答

＜概　要＞

世界から大幅に遅れていた日本での e スポーツシーンでしたが 2018 年の日本の e スポーツ市場は対前年比約 13 倍の約 48 億円の市場へと飛躍し、これまで日本の e スポーツを支えてきたゲーミング PC メーカーなどに加えて、様々なナショナルクライアントが大会やチームにスポンサードを開始し、2019 年になってもこの勢いは衰えを知らず、さらに加速している状況である。しかしながら、まだまだ日本での e スポーツの認知はそれほど高いとは言えず参入してきた各社はビジネスとして扱う打開策を見つけられずにいる。そうした中で今回は世界の e スポーツの現状と日本の現状を対比しながら、世界での成功事例や日本で普及に立ちはだかる壁などを解説し、日本での e スポーツが進むべき道を模索していく。

別紙5

情報通信学会誌（第37巻第1号～第37巻第4号）

情報通信学会誌第37巻第1号　通算第130号（第2号と合本）

掲載論文

・「匿名表現の自由の保障の程度　―米国法上の議論を手がかりとして―」（海野敦史、大倉沙江）

・「サイバーセキュリティにおけるインシデント対応コミュニティの発展―目的、機能、文化から見るCSIRT―」　（小宮山功一朗）

・「スマートフォンゲームのオンラインマルチプレイは課金を促すか？」　（中村彰宏）

・「（虚偽の）口コミ投稿行動と人々の属性・動機の関係分析」（山口真一、彌永浩太郎、坂口洋英）

掲載寄稿論文

・「日本の小中高生はオンラインゲームにどれほど課金しているのか? ：教室内アンケートを用いた分析」　（小川一仁、 川村哲也、小山友介、本西泰三、森知晴）

情報通信学会誌第37巻第2号 通算第131号

特集　2019年度春季（第40回）情報通信学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム

掲載論文

・「電子漫画作品の人気要因：作者によるアイデンティティと読者によるイメージの距離」（リュボスル、勝又壮太郎）

・「「暇」ツイートのテキストマイニングによる潜在的ニーズの発見法に関する一考察」（大槻明、町田悠貴、川村雅義）

・「信認義務としてのプライバシー保護」（斉藤邦史）

掲載論説

・「フェイクニュース生成過程におけるミドルメディアの役割～2017年衆議院選挙を事例として～」（藤代裕之）

掲載寄稿論文

・「プラットフォーマーの新興国における情報流通支援に賛否両論－Facebookの無料データ通信アプリのケース」（神野新）

研究会報告

・モバイルコミュニケーション研究会　「モバイルメディア時代の働き方」

情報通信学会誌第37巻第3号 通算第132号（第4号と合本）

掲載論文

・ゼロレーティングサービスに対する消費者評価の分析（実積寿也）

掲載寄稿論文

・プライバシーコミッショナー会議（ICDPPC2019）レポート（村上陽亮）

情報通信学会誌第37巻第4号 通算第133号

特集1　第41回国際コミュニケーション・フォーラム
2019年度秋季（第41回）情報通信学会大会

特集2　2019年度関西大会
掲載論文
・「プラットフォーム事業者による流通情報の管理を通じた表現の自由の保障のあり方 ―米国法上の議論を手がかりとして―」（海野敦史）
・THE PRODUCTIVITY EFFECTS OF INNOVATION: An Empirical Study of the ICT Manufacturing Industry in China（Junjun LI）
掲載論説
・市民活動をサポートするオープンデータ活用： 国内外の実践と研究に関するレビュー（井上絵理、谷口尚子）
・オリンピック競技大会とICT－2018年平昌オリンピック冬季競技大会のサイバーセキュリティ対策に関する考察（趙章恩）
掲載寄稿論文
・プラットフォーム市場の集中と競争： 2つの螺旋効果と競争政策の役割（小田切宏之）
研究会報告
・コンテンツビジネス研究会
「出版社のコンテンツビジネス～クロスメディア展開を中心に」
・地域5G研究会　「5Gをめぐる電波政策の最新動向」

英文ブックシリーズ「Advances in Information and Communication Research」

第1巻
Book Title: Telecommunications Policies of Japan
Editors: Mitomo, Hitoshi (Ed.)
Publisher: Springer
Publication Date: January 2020

About this book:
This book provides a detailed description of Japan's telecommunications policies. It discusses how Japan has addressed a variety of policy challenges ranging from traditional regulatory issues, such as the provision of a universal service, to the latest tasks, including the promotion of cutting-edge technologies.

Japan is a global leader in information and communication technologies (ICT). In addition to technological advances, an impressive nationwide optical-fiber and advanced mobile network infrastructure has been developed, which has boosted the economy and benefited society.

The Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) has played an important role in ICT deployment. Japan has a unique ICT policy framework that does not separate regulation and promotion, unlike many other countries, which have an independent regulator. However, since relatively little information has been provided in English, it has been difficult to learn much about Japan's policies. Written by specialists from MIC, industry and academia, this is the first collaborative work to provide a comprehensive discussion of Japan's ICT policies, allowing readers to gain an understanding of the topic.

Table of contents (14 chapters)

Basic Facts of Japan's Telecommunications Policy
Tomioka, Hideo
Broadband Promotion, Elimination of the Digital Divide, and Other Policy Measures in Japan
Ando, Takanori
Development of Regulatory Systems Concerning Interconnection
Fukuda, Masaki
Spectrum Management
Nemoto, Tomoo
Development of Mobile Technology (3G, 4G, 5G)
Nakazato, Gaku
Effective Use of Radio Waves
Shinozawa, Yasuo
Japan's Cybersecurity Policy
Aikawa, Wataru
Consumer Protection
Okamoto, Yoshikazu
Personal Data Protection
Koguchi, Teppei
Big Data, IoT, AI, and Smart Cities
Mashiko, Takanori
Net Neutrality
Jitsuzumi, Toshiya
R&D Strategy and Its Deployment in the ICT Field Toward Realizing Society 5.0
Yamano, Tetsuya (et al.)
Utilization of ICT in Elementary and Secondary Education in Japan: Its Policies and Effects
Mitomo, Hitoshi
International Cooperation ODA
Hatakeyama, Yuji

別紙6

評議員会及び理事会の開催

＜評議員会＞

第２５回みなし評議員会

日　時：2019年4月2日（火）

出席者：（評議員）井上泰浩、梶浦敏範、紀伊肇、佐藤靖夫、菅谷実、辻正次、松井房樹、山下東子

議　案：

１．評議員の辞任にともなう、理事会選挙管理委員及び評議員候補者選考委員の指名

第２６回定時評議員会

日　時：2019 年 6 月 13 日（木）18：00～19：06

場　所：一般社団法人電波産業会　第 6 会議室

出席者：(評議員）井上泰浩（Skype 参加)、紀伊肇、佐藤靖夫、菅谷実、山下東子、(理事)川崎賢一
（監事）池川博士（Skype 参加)、篠原聡兵衛（Skype 参加）

議　案：

１．2018 年度事業報告について

２．2018 年度決算報告について

３．平成 30 年度事業計画及び平成 30 年度収支予算について

４．任期満了に伴う一部評議員の選任

５．任期満了に伴う理事の選任

６．任期満了に伴う監事の選任

報告事項：

１．業務執行状況報告

＜理事会＞

第５４回理事会

日　時：2019年5月24日（金）17：00～18：13

出席者：（理事）川崎賢一、山田肇、竹内信博、林秀弥、庄司昌彦、小川純子、木村幹夫、
河又貴洋（Skype参加)、高崎晴夫、福富忠和、宮崎久美子（監事）篠原聡兵衛

議　案：

１．2018 年度事業報告

２．2018 年度決算報告

３．2019 年度定時評議員会の招集

４．選挙によらない次期理事候補者の推薦

５．次期監事候補者の推薦

６．関西センター委員の交代について

７．2018 年度（第 20 回）情報通信学会論文賞決定

８．2020 年度春季（第 42 回）情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラム開催校の決定

９．入会承認及び大会報告

１０．終身会員の承認

報告事項：

１．2019 年度春季（第 40 回）情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラム

２．2019 年度秋季（第 41 回）情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラム

３．学会誌の発行

４．2019 年度第 1 回情報通信ワークショップ

５．外部団体との連携

第５５回理事会

日　時：2019年6月25日（火）18：00～18：20

場　所：一般社団法人電波産業会 第6会議室

出席者：(理事）江嵜正邦、小川純子、川崎賢一、河又貴洋（Skype参加)、木村幹夫、桑原俊、実積寿也（Skype参加)、庄司昌彦（Skype参加)、新保史生（Skype参加)、高崎晴夫、田中絵麻、林秀弥、三友仁志（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議　案：

１．会長（代表理事）の選任について

２．副会長・常務理事の選定について

３．入会承認及び退会報告

報告事項：

１．業務執行状況の報告

第５６回理事会

日　時：2019 年 7 月 18 日（木）14：00～15：01

場　所：一般社団法人電波産業会 第 2 会議室

出席者：（理事）三友仁志、内山隆、江嵜正邦、小川純子、川崎賢一、河又貴洋（Skype参加)、桑原俊、庄司昌彦、高崎晴夫、田中絵麻（監事）池川博士、篠原聡兵衛（Skype参加）

議　案：

１．常務理事の選任について

２．委員会委員の選任について

３．資金運用執行責任者任命の承認について

４．新規研究会の設置

５．入会承認及び退会報告

報告事項：

１．業務執行状況の報告

検討事項：

１．外部団体との連携

第５７回理事会

日　時：2018 年 9 月 17 日（火）18：00～19：25

場　所：一般社団法人電波産業会 第 6 会議室

出席者：(理事）三友仁志、内山隆、江嵜正邦、小川純子、川崎賢一、河又貴洋（Skype 参加)、木村幹夫、西岡洋子（Skype 参加)、林秀弥、宮崎久美子、(監事）池川博士、篠原聡兵衛

議　案：

1．委員会委員の選任について

2．総務プロジェクトの設置について

3．委員会の設置及び運営に関する規則（委員会設置運営規則）の改正について

4．印章の管理に関する規則（委員会設置運営規則）の改定について

5．正会員表彰受賞者について

6．入会承認及び退会報告

検討事項：

1．今後の活動について

2．学会ホームページのリニューアルについて

3．広報プロジェクトの設置について

4．他団体からの依頼について

報告事項：

1．業務執行状況の報告

第５８回理事会

日　時：2020 年 1 月 22 日（水）10：00～11：02

場　所：一般社団法人電波産業会 第 4 会議室

出席者：(理事) 三友仁志、内山隆、江嵜正邦、岡田朋之、小川純子、川崎賢一、桑原俊、庄司昌彦、田中絵麻（Skype 参加）、西岡洋子、林秀弥　（監事）池川博士

議　案：

1．情報通信学会誌の価格について

2．事務局職員新規採用について

3．入会承認及び退会報告

検討事項

1．2020 年度事業計画と予算について

2．他団体からの依頼について

報告事項

1．業務執行状況の報告

2．その他

第５９回みなし理事会

日　時：2020 年 3 月 24 日（水）

出席者：（理事）三友仁志、川崎賢一、実積寿也、内山隆、江嵜正邦、岡田朋之、林秀弥、小川純子、河又貴洋、木村幹夫、桑原俊、庄司昌彦、新保史生、高崎晴夫、田中絵麻、西岡洋子、福冨忠和、宮崎久美子　（監事）池川博士

議　案：

1．2020 年度事業計画について

2．2020 年度収支予算について

3．職員の特別手当の支給について

＜常任理事会＞

第２１回常任理事会

日　時：2019 年 12 月 17 日（火）18：00～19：45

場　所：一般社団法人電波産業会　第４会議室

出席者：三友仁志、川崎賢一、実積寿也（Skype 参加）、内山隆、江嵜正邦、岡田朋之（Skype 参加）、林秀弥、田中絵麻

議　案：

１．学会の成長について

２．2019 年度見込決算について

３．2020 年度事業計画及び収支予算について

４．学会規則の改正について

５．今後の事務局体制について

６．会員データの管理について

７．学会ホームページについて

８．その他

別紙７

委員会等の開催

＜研究企画委員会＞

第１回研究企画委員会

日　時：2019 年 4 月 19 日（金）15：00～17：30

場　所：情報通信学会事務局

出席者：庄司昌彦、高口鉄平、高崎晴夫、宮崎久美子

議　案：

１．2019年度春季（第40回）学会大会個人研究発表について

２．学会大会参加費の徴収について

３．その他

＜研究・事業企画委員会＞

第１回研究・事業企画委員会

日　時：2019 年 10 月 1 日（火）17：30～18：53

場　所：一般社団法人電波産業会　第６会議室

出席者：林秀弥、木村幹夫、庄司昌彦、浅利光昭、上原伸元、小川純子、三本松憲生、高崎晴夫、福田雅樹、村上陽亮、森由美子

議　案：

１．研究・事業企画委員会の紹介及びその役割と業務について

２．2019 年度秋季（第 41 回）学会大会個人研究発表について

３．2019 年度情報通信ワークショップについて

＜編集委員会＞

第１回編集委員会

日　時：2019 年 5 月 23 日（木）

場　所：メーリングリストによる書面会議

議　案：

１．2018 年度（第 20 回）情報通信学会論文賞について

第２回編集委員会

日　時：2019 年 6 月 5 日（水）14：30～15：40

場　所：大阪大学　東京オフィス　多目的室１

議　案：

１．9 月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について

２．投稿に関するＱ＆Ａについて

報告事項：

１．論文賞の理事会報告について

２．６月号の進捗状況について

検討事項：

1．次期編集委員会への引継ぎ事項について

第３回編集委員会

日　時：2019 年 9 月 12 日（金）17：30～19：00

場　所：一般社団法人電波産業会　第 4 会議室

出席者：内山隆、河又貴洋（Skype 参加）、新保史生、桑原俊、高口鉄平、宍倉学（Skype 参加）、篠原聡兵衛、高嶋祐一（Skype 参加）、高田義久、田尻信行、田中絵麻、中嶋聖雄、中村彰宏、成原慧（Skype 参加）、福冨忠和、山口真一、山田徳彦、湧口清隆

議　案：

1．編集委員会委員の紹介及びその役割と業務について

2．12 月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について

3．9 月号編集計画

4．学会誌担当委員の決定について

5．学会誌に関する規定及び規則の改定について

第４回編集委員会

日　時：2019 年 12 月 12 日（木）13：00～13：36

場　所：一般社団法人電波産業会 第 6 会議室

出席者：内山隆、新保史生、北村智、桑原俊、斉藤邦史、宍倉学（Skype 参加)、高嶋祐一（Skype 参加)、成原慧（Skype 参加）

議　案：

1．3 月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について

2．12 月号の査読結果報告と 12 月号編集計画について

3．学会誌に関する規定及び規則の改定について

4．消費税の値上げに伴う学会誌の価格改定について

5．その他

第５回編集委員会

日　時：2020 年 3 月 15 日（金）13：00～14：30

場　所：一般社団法人電波産業会　第 4 会議室

出席者：林秀弥、神野新、福田雅樹、青木淳一、河又貴洋（Skype 参加)、宍倉学、篠原聡兵衛、高嶋祐一（Skype 参加)、高田義久、田尻信行

議　案：

1．学会誌 134 号（6 月号）投稿論文・論説の担当委員の選出及び学会誌担当委員について

2．2019 年度情報通信学会論文賞について

3．学会誌の電子化について

報告事項：

1．学会誌 133 号（3 月号）の進捗状況について

＜関西センター委員会＞

第１回関西センター委員会

日　時：2019 年 7 月 31 日（水）15：00～16：00
場　所：関西大学梅田キャンパス 7 階　701 室
出席者：岡田朋之、葛西弘生、北村順生、谷村要、林信秀
議　案：
１．関西センター委員の紹介及びその役割と業務について
２．2019 年度関西大会実施について
３．2020 年度春季学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
４．その他

第２回関西センター委員会

日　時：2020年1月31日（金）16：00～17：36
場　所：関西大学梅田キャンパス　6階603教室
出席者：岡田朋之、上田昌史、葛西弘生、谷村要、脇浜紀子
議　案：
１．2020年度関西センター事業計画について
２．2019 年度関西大会実施報告について
３．その他

＜総務プロジェクト＞

第１回総務プロジェクト（第 21 回常任理事会合同開催）

日　時：2019 年 12 月 17 日（火）18：00～19：45
場　所：電波産業会　第 4 会議室
出席者：三友仁志、川崎賢一、実積寿也（Skype 参加）、内山隆、江﨑正邦、岡田朋之（Skype 参加）、林秀弥、田中絵麻
議　題：
１．学会の成長について
２．2019 年度見込決算について
３．2020 年度事業計画及び収支予算について
４．学会規則の改正について
５．今後の事務局体制について
６．会員データの管理について
７．学会ホームページについて
８．その他